

細川たけし新聞

令和3年春
細川威事務所
〒343-0022
越谷市東大沢
1-12-15-201
Tel/FAX
0489713890

3月市議会 ご報告

市長・教育長に問う

コロナ対策を集中的に質問

3月定例議会では代表質問が行われ、「立憲・市民ネット」を代表して質問しました。今回は特にコロナ対策を集中的に質問し、現状や今後の対応策について多角的に市長・教育長に問いました。

【質問①】
コロナ渦において市の財政が大変厳しくなる中、令和3年度は、どのような市政運営を行うのか

【答弁①】
大変厳しい予算編成となったが、歳入では依存財源を積極的に活用し、歳出では事業の廃止や休止などを含めた様々な手段を検討し調整した。さらに財政調整基金の取崩

しも例年以上に行った。今後は、積極的な財政獲得と事務事業の不断の見直しに取組み持続可能な行財政運営に努める。

【質問②】
ワクチン接種の取組と今後の課題について

【答弁②】
「接種対策室」を設置し、接種会場やクーポン券発送の準備を着実に進めているが、ワクチンの供給量や時期が不明確なため、柔軟に対応できるような接種体制の確保に努めている。(裏面へ続く)



本会議場 代表質問の様子

代表質問も時間短縮 一般質問に引続き なぜ？

前回のレポートで「一般質問の時間が2時間から1時間に変更になり、大変残念である」というコラムを掲載したが、なんと3月議会でも代表質問の時間が2時間から1時間へと変更になってしまった。コロナ渦で

感染拡大予防との理由も一定の理解はできるが、代表質問は会派を代表して質問するもので、質問者も少ない(今回は6名)。またアクリル板の設置やマスクの着用、本会議場への人数制限など多くの対策を行っている。コロナ対策や予算など行政には聴きたいことがたくさんあったが、今回の時間短縮も非常に残念である。

市長提出議案

今議会では市長より58件の議案が提出されました(左参照)。注目は令和3年度当初予算

- 令和3年度当初予算
- 副市長の選任
- 介護保険条例一部改正
- 下水道条例一部改正
- 令和2年度補正予算
- 農業委員会委員の選任
- その他

和3年度当初予算で一般会計(千三十二億円)の対前年度比はマイナス二・三%で、額にすると約24億円減になります。これも新型コロナウイルスの影響であり、今後も大幅な伸びを期待することは難しくなっています。

一方で、今年度は第5次総合振興計画のスタートの年になり、「水と緑と太陽に恵まれた、みんなが活躍する安全・安心・共生都市」を市の将来像としています。厳しい財政状況ではありますが、限られた財源を効率的・効果的に配分し、将来像の実現のため安全で安心なまちづくりを目指してまいります。

議員提出議案可決される

私と同会派の松田議員が提出者となった「**婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書**」が賛成多数で可決しました。この意見書は、生まれく

る環境を選ぶことができない子どもが書類上でも実社会でもあらゆる形の差別を受けることなく、健やかに育ち、その子の能力をのびのびと発揮できる社会を実現するための意見書です。具体的に国に要望することは以下の2点になります。

- ①戸籍法第四十九条第二項第一号を削除し、出席届における、嫡出子、嫡出でない子の別の記載欄を廃止すること。
- ②戸籍法第十三条第四号及び第五号を改正し、戸籍の実父母との続柄及び養親との続柄を廃止すること。なお、続柄廃止に伴い性別を明らかにする必要がある場合は、性別欄を設けるよう改正すること。

提出先 衆議院議長・参議院議長等

細川たけしプロフィール

越谷市議会議員 3期目 昭和五十二年生まれ

現在の役職

- 立憲・市民ネット代表
- 建設委員会委員長
- 都市計画審議会委員
- 空家等対策協議会委員

経歴
市内小中学校、獨協埼玉高、東海大工、北陸先端科学技術大学院卒業、衆議院議員秘書、運送業を経て現職

細川たけしの 代表質問 と 活動日誌

代表質問

保健所

質問：保健所は伝染病の疾病予防、精神保健福祉、生活衛生、薬の相談等その業務は多岐にわたり幅広く私たちの生活に密着し業務を行っている。PCR検査や情報提供、予防の啓蒙など業務が多忙化している中、今後も保健所が円滑に業務を行う上で解決しなければいけない課題は？

答弁：保健所は設置されてから6年が経過し、その間健康危機管理に関する多岐にわたる業務を主に担ってきた。今回のコロナ渦では、予防策等の注意喚起やPCR検査等を行うことが出来、迅速に感染拡大防止措置をとることが可能となっている。一方で体制強化が急務となっていることから、令和3年度から保健師を増員した上で「感染症保健対策課」を新設する。

学校の対策

質問：一斉臨時休業や様々な行事の中止や縮小など、現在の小中学生にとっては大変つらい日々が続いている。そこで、現在行われている教育を受けながらの感染拡大防止策についてお聞きしたい。また、コロナ渦では感染拡大防止策を取りながら教職員や児童・生徒同士の交流も必要であると考えているが、越谷市の取組みは？

答弁：感染防止策として毎朝家庭での検温、マスクの着用・換気・手洗いや、給食中は前を向き会話を控える指導している。交流についてはタブレットを使用しての共有学習や、アクリル板等を使い話合いの活動を行っている。更に、生徒会連合会のオンライン会議を実施している。加えて定期的に心のアンケートを実施し、担任との2者面談を設けている。

差別をなくす取組

質問：2月3日に「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」が成立し、患者に対する差別の防止にについて国と地方公共団体の責務（相談支援や啓発など）が定められた。差別や偏見を恐れるあまり感染の事実を隠してしまい、感染がさらに広がることも懸念されている。人権を守る観点、感染拡大防止の観点からも差別・偏見をなくす取組みがなおいっそう必要不可欠であると考えているが、市長の見解は？

答弁：市ではお互いに認め合い人権を尊重する社会の実現のために感染者への差別や偏見をなくす人権教育・啓発を推進している。本庁舎ロビーにて市内小中学校の児童・生徒が作成した人権標語を掲示した。また広報こしがや3月号に同様の啓発文を掲載し、差別防止を呼び掛けた。

その他の質問

- 自主財源について
- 市独自のコロナ対策について
- 申請書の煩雑さの解消について
- コロナ関係の詐欺防止について
- 災害時の電力・Wi-Fiの確保について
- 情報格差の解消について

合計11項目について質問しました。

『大沢地区 クリーン作戦に参加』

大沢地区の各自治会が一斉にゴミ拾いをするイベントで年2回行われます。日頃より多くの方々のご協力により地区全体はきれいに清掃されていましたが、所どころタバコの吸い殻が目につき大変残念でした。タバコの吸い殻は、火事の原因にもなりますし、フィルターが分解されるまで数年かかります。

